高体連会報

青春の躍動

発　行
島根県高等学校体育連盟
ＴＥＬ（０８５２）２６・３８４２
ＦＡＸ（０８５２）２６・３６９５
発行人◇吉　岡　淳
編　集◇高体連研究部
題　字◇山　本　興
印　刷◇㈲松本印刷

【感謝】中国総体２０２５

島根県高等学校体育連盟
会長　吉　岡　　淳

「開け未来の扉　中国総体　２０２５　輝け君の青春　刻め努力の軌跡」を大会スローガンに掲げ、令和７年度全国高等学校総合体育大会が広島県を幹事県として中国５県と北海道・福島県・和歌山県で開催されました。

本県では、５市１町、体操競技・男子バレーボール・レスリング・フェンシング・なぎなた・カヌーの６競技が行われ、高校生アスリートの熱戦が繰り広げられました。連日真夏日・猛暑日となる中、暑熱対策や救護体制を充実させ、大きな事故もなく無事に全日程を終えることができました。

本大会の開催にあたり、島根県高校生活動（愛称えんむすび〜ず）が大会成功に向けての広報活動、ＰＲグッズやマスコットの作成、大会サポートなど主体的な活動をとおして大会を盛り上げてくれました。多くの県内高校生が、競技に臨む選手や来場者の方々を、気持ちの良いあいさつや声掛けで出迎え、島根県のおもてなしの心を伝えてくれました。県外の方から「この中国総体で島根県に来てよかった」との声を直接聞く機会が何度もありました。参画してくれた皆さんも、大会期間中をとおして、交流や相互の親睦を深められたのではないでしょうか。関わってくれた一人ひとりにとってかけがえのない経験となり、だれもの記憶に残る大会となったと思います。

また、島根県選手団（29競技に５５０名が出場）もそれぞれが持てる力を十分に発揮し、観戦に訪れた多くの方々に大きな感動をもたらしてくれました。ホッケー男子とカヌー男子カナディアンフォアの２種目で優勝、さらに個人団体あわせて27種目で８位入賞と、素晴らしい活躍を見せてくれました。大会に向けて厳しい練習に打ち込んできた高校生アスリートと指導者の皆様に心からの敬意を表します。

さらに、競技運営に携わっていただきました競技団体からの役員・市町の関係者・県内高校等の先生方・高校生補助員、関わっていただいたすべての皆様、念入りな準備と細やかな配慮が行き届き、スムーズな大会運営をしていただき、心から感謝申しあげます。高校生アスリートが万全の態勢で競技に臨めるよう、最高の環境を提供していただきました。ありがとうございました。来年度の近畿総体、さらには２０３０年の国スポ・全スポにむけて、県内のすべての競技において高校生アスリートの飛躍・躍進を祈念したいと思います。

中国総体とほぼ同時期、７月26日から８月23日に全国高校定時制通信制体育大会が開催されました。本県からは、６競技に46名の選手が出場しました。この大会でも、卓球男子団体が５位、陸上競技女子１００ｍで８位入賞がありました。定時制通信制の高校生も全国の舞台で持てる力を十分に発揮し、躍動してくれました。

結びに、部活動には、豊かな人間性の育成、対人関係能力の育成、自己肯定感の高揚、責任感と連帯感の涵養などの多くの教育効果が期待されます。部活動に関わる全ての皆様がこうした教育効果を踏まえた活性化にご尽力いただいていることに感謝いたしますとともに、心より御礼申しあげます。

インターハイ優勝を経て

出雲農林高校　カヌー部
主将　宮　原　悠　煌

この夏、中国地方を中心として開催された「開け未来の扉　中国総体　２０２５」にカヌー競技で出場し、男子カナディアンフォア２００ｍで優勝することができました。

カヌー競技は地元である島根県で開催され、慣れ親しんだ地でレースができることは、大きな喜びとともにプレッシャーでもありました。

昨年、私たちのチームは同種目の５００ｍ競技で優勝した経験から、今年度は地元で５００ｍと２００ｍで優勝し、２冠を目指して戦いに臨みました。競技日程の前半、５００ｍ競技では順調に決勝へと駒を進めることができました。

疲労がたまる終盤での伸びが得意な私たちにとってスタートで出られることは想定していましたが、優勝した宮崎県の学校が一枚上手で、最後までその背中を捉えることができず、準優勝という結果に終わりました。この反省を活かし、試合後半の２００ｍ競技に備えました。

２００ｍ競技では、５００ｍとは乗り手の順番をスピード重視の並びに乗り換えました。予選から手ごたえを感じ「これならいける」という自信が強くなっていきました。決勝ではスタート直後から他チームを引き離す展開となり、そのまま最後まで先頭で漕ぎきることができました。

今回の経験から、何かを達成するためにはしっかり現状を受け止め、反省したうえでより良くするための方法を考える大切さを学びました。地元での２冠達成は叶わず悔しい想いもありますが、だからこそ２００ｍで優勝できたことや「全国優勝」の重みを感じることができました。この経験を残りの競技生活やこれからの道で生かしていきたいと思います。今回の結果は多くの方々からの応援で達成できたものでした。ありがとうございました。

全国制覇を達成して

横田高校　男子ホッケー部
古　澤　知　宙

私たち横田高校男子ホッケー部は、８月２日から６日にかけて鳥取県で開催された全国高等学校ホッケー選手権大会に出場しました。準決勝まで順調に勝ち上がり、決勝戦では岩手県の沼宮内高校と対戦し、４Ｑを終えて１対１の同点となり、ＳＯ戦の結果、４対２で勝利し、優勝しました。

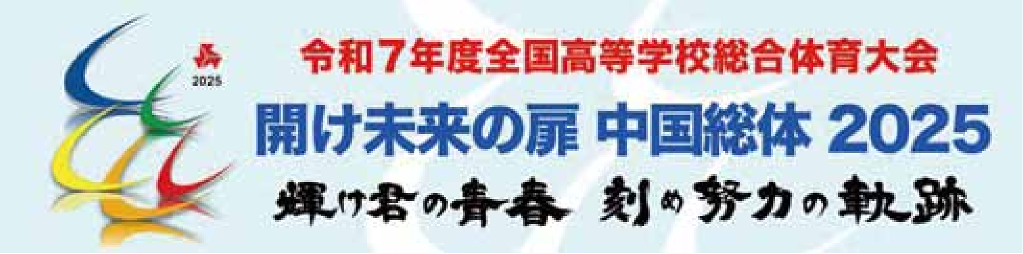
私たちはこの大会に向けて、相手のボールを取りきるという前線からプレッシャーをかけ、組織的な守備を強みにできるよう練習に取り組んできました。また練習試合には１Ｑで必ず１点以上取るという目標で臨み、攻撃力の向上にも努めてきました。

インターハイでは試合ごとに綿密なミーティングを重ね、自分たちがやるべきことを明確にしてから試合ができたことで、これまで練習してきた組織的な守備や得点力を生かし、自分たちの流れで試合を進め、勝ち上がることができました。

しかし、決勝戦では守備からリズムをつくれているものの、得点を決めることができませんでした。そして流れを掴みきれないまま後半に先制を許してしまい、苦しい展開の試合となってしまいました。その中でも、会場まで足を運び、応援に来ていただいた地域の皆様からの声援を力に、最後まで粘り強く戦い、土壇場で追いつき、ＳＯ戦で勝ち切ることができました。

２連覇もかかった大会でプレッシャーもありましたが、やるべきことを明確にして、自分たちのホッケーで戦うことができました。しかし、ペナルティーコーナーの決定率や時間帯を考えてプレーするなどの課題も見えてきたので、ここで満足することなく、次の国スポに向けてさらに強いチームを目指していきたいと思います。

ご声援をいただき、ありがとうございました。


2025
令和７年度全国高等学校総合体育大会
開け未来の扉　中国総体 2025
輝け君の青春　刻め努力の軌跡

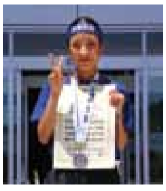
島根県高体連
マスコットキャラクター
「しじみん」

３年間の集大成

平田高校　女子８００ｍ
佐々木　葉　音

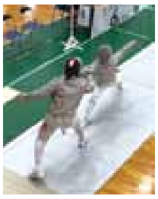
７月25日から29日に広島県で行われたインターハイに８００ｍで出場しました。直前まで練習がしっかり積めていたので自信があった半面、去年の３位という結果よりも上を狙っていかないといけないというプレッシャーがあり、とても緊張していました。また３年間の集大成と高校最後のインターハイということもあり、期待に応えたいという一心で臨みました。特にその中でも私は島根県記録の更新を目標にレースに挑みました。今大会は中国地方開催だったこともあり、現地にチームメイトが応援に来てくれ、それが自分自身の励みとなり、最高の状態でスタートラインに立つことが出来ました。レースの中でも冷静さを保ち、最後の１歩までこだわり、２位でゴールしました。目標の島根県記録にはあと一歩届かずという結果で終わりましたが、今の最大限の力は発揮することができ、大幅に自己ベストを更新し、後悔はありません。ですが、今回見つけた課題を修正し、高校最後の８００ｍである国スポに向け、技術面も精神面も磨き上げていきます。

ここまでこられたのは、紛れもなく自分１人の力ではなくたくさんの人の支えがあってこその結果です。これからの大会でも、納得のいく走りができる強い選手になっていきたいと思います。応援ありがとうございました。



中国（安来）インターハイを終えて

安来高校　フェンシング部
薮　崎　　詩



私たちフェンシング部は８月６日から８月９日にかけて島根県安来市で行われたインターハイに出場して、私は女子サーブル個人の部で第５位という結果を残すことができました。

今年は、自分の出身地でもある島根県安来市でインターハイが開催されることとなり、慣れ親しんだ場所で戦えるという喜びと、家族や友人、地元の方々に応援してもらった期待に応えたいという気持ちの両方を感じながら大会に臨みました。結果は５位という今までで一番の好成績を残すことが出来ました。全国から集まった強豪選手との戦いは決して簡単ではなく、どの試合も緊張感のある厳しい試合ばかりでしたが、日々の練習や指導者の方にご指導していただいたおかげで、最後まで自分の力を出し切って戦うことが出来ました。

今回の大会を通じて、自分にとって大きな自信がついたのと同時に、まだまだ足りない部分や新たな課題も見つかり、これからの成長につながる貴重な経験になりました。支えてくださった指導者の方々や家族、仲間、そして応援してくださったすべての方々に感謝の気持ちを忘れず、さらに上を目指して、日々の練習に励んでいきます。

地元インターハイを終えて

出雲北陵高校　なぎなた部
主将　安　田　結　衣

７月31日から８月１日にかけて、出雲だんだんとまとアリーナで開催されたインターハイに出場させていただきました。地元開催・３年生不在という緊張や不安、プレッシャーがある中で、最大限自分の力を出し切ろうと思い、試合に挑みました。今大会では私は５位入賞を果たすことが出来ました。支えてくださったすべての方々への恩返しや、期待に応えたいという思いが、弱気な自分を奮い立たせ、一戦一戦勝ち上がることが出来ました。自分一人ではこの結果を残すことが出来なかったと思います。地元開催の温かい応援や支えが力となり、成果を残すことができました。

大会中は多くの皆さんが応援して下さり、大会成功のために動いてくださる中で、自分のことしか考えていなかったと反省する場面がありました。しかし、競技に集中する事ができたのは皆さんのサポートがあったからこそだと実感することができました。大会を通じ、個人だけが成長するのではなく、チームとして成長していくことが大切だと改めて感じることができました。今大会の結果を活かし、今後の大会でも活躍できるよう稽古に励みたいと思います。大会運営に携わっていただいた皆様、応援してくださった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

開け未来の扉　中国総体 2025　成績

No.	成績	競　技	種　　目	氏　　名	学　校
1	１位	ホッケー	男子	横田	
2		カヌー	男子カナディアンフォア200m	宮原・松﨑・矢野・飯島	出雲農林
3	２位	陸上競技	女子800m	佐々木　葉音	平田
4		カヌー	男子カナディアンフォア500m	宮原・松﨑・矢野・飯島	出雲農林
5	３位	陸上競技	女子200m	江角　和華	開星
6		自転車競技	男子スクラッチ	持田　虎徹	出雲工業
7		ホッケー	女子	横田	
8		ボクシング	男子ミドル級	兵主　瑠聖	松江西
9	４位	カヌー	男子学校対抗	出雲農林	
10			男子カナディアンペア500m	宮原悠煌・松﨑新太	出雲農林
11			女子カヤックペア200m	多々納未来・松尾夏帆子	出雲農林
12	５位	陸上競技	女子４×100mR	高橋・江角・岩本・永岡	開星
13		柔道	女子78kg超級	舩木　春樺	出雲西
14		卓球	男子ダブルス	山本旬真・杉谷虎太朗	松徳学院
15		フェンシング	女子サーブル	薮崎　　詩	安来
16		カヌー	男子カナディアンペア200m	矢野来樹・飯島　颯	出雲農林
17			男子カナディアンペア500m	矢野来樹・飯島　颯	出雲農林
18			女子カヤックペア500m	多々納未来・松尾夏帆子	出雲農林
19		ボクシング	男子フライ級	田中　千博	出雲西
20		なぎなた	女子個人（試合）	安田　結衣	出雲北陵
21	６位	水泳	男子高飛込	廣冨　　諒	松江南
22		フェンシング	男子フルーレ	村田　煌冴	安来
23		カヌー	男子カナディアンフォア200m	椎名・久保・佐々木・阿久津	島根中央
24	７位	陸上競技	女子三段跳	福間　璃子	大田
25		自転車競技	女子ケイリン	江戸　　優	出雲工業
26	８位	フェンシング	男子エペ	村田　煌冴	安来
27		カヌー	女子カヤックフォア500m	浦川・斎藤・竹部・西浦	島根中央

公開種目　入賞一覧

No.	成績	競　技	種　　目	氏　　名	学　校
1	１位	カヌー	女子カナディアンシングル500m	植出　乙倭	島根中央
2	２位		女子カナディアンシングル200m	植出　乙倭	島根中央
3	３位	水泳	男子シンクロナイズド飛板飛込	廣冨　諒・青木波琉	松江南・松徳学院
4		ボクシング	女子バンタム級	金丸　由良	出雲西
5	５位	ボクシング	女子ライトフライ級	池田　友結	出雲西
6			女子ライト級	永瀬　愛華	出雲西
7	８位	カヌー	女子カナディアンシングル500m	佐脇　瑠南	島根中央

全国定通大会　入賞一覧

No.	成績	競　技	種　　目	氏　　名	学　校
1	５位	卓球	男子団体	宍道	
2	８位	陸上競技	女子100m	加納　静七	宍道